

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 29 年 10 月 5 日 (2017.10.5)

【公表番号】特表 2016-538668 (P2016-538668A)
 【公表日】平成 28 年 12 月 8 日 (2016.12.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-067
 【出願番号】特願 2016-546751 (P2016-546751)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/0485 (2013.01)

G 0 6 F 3/0488 (2013.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/0485

G 0 6 F 3/0488

【手続補正書】
 【提出日】平成 29 年 8 月 24 日 (2017.8.24)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

1 つまたは複数の選択可能領域および 1 つまたは複数の選択不可能領域を有するスクロール可能領域を備えるユーザインターフェースを提示することであって、前記 1 つまたは複数の選択可能領域のうち第 1 の選択可能領域が、前記 1 つまたは複数の選択不可能領域のうちの第 1 の選択不可能領域に隣接して位置することと、

前記第 1 の選択可能領域内でユーザ入力を検出することと、

前記スクロール可能領域の第 1 の端が、前記第 1 の選択可能領域の可視部分と相互に面しているかどうかを決定することと、

前記スクロール可能領域の前記第 1 の端が、前記第 1 の選択可能領域の前記可視部分と相互に面しているという第 1 の決定に少なくとも部分的に基づいて、前記スクロール可能領域の前記第 1 の端にトリガラインを確立することと、

前記スクロール可能領域の前記第 1 の端が、前記第 1 の選択可能領域の前記可視部分と相互に面していないという第 2 の決定に少なくとも部分的に基づいて、前記第 1 の選択可能領域の第 2 の端付近にトリガラインを確立することであって、前記第 2 の端が、前記 1 つまたは複数の選択不可能領域のうちの 1 つの選択不可能領域に直接、隣接していることと、

前記トリガラインと交差する前記ユーザ入力の移動を検出することと、

前記ユーザ入力の移動に少なくとも部分的に基づいて、前記スクロール可能領域をスクロールすることと、

前記 1 つまたは複数の選択可能領域のうち第 2 の選択可能領域と相互に面している前記スクロール可能領域の第 3 の端にトリガラインを再確立することと、
 を含む、コンピュータ実装方法。

【請求項 2】

前記ユーザ入力、前記スクロール可能領域内にいること、および、前記 1 つまたは複数の選択可能領域のうちの前記第 2 の選択可能領域の閾値量が、前記スクロール可能領域内にスクロールしたことを決定することと、

前記ユーザ入力、前記スクロール可能領域内にあり、かつ、前記 1 つまたは複数の選択

可能領域のうちの前記第2の選択可能領域の閾値量が前記スクロール可能領域内にスクロールしたという決定に少なくとも部分的に基づいて、前記スクロール可能領域をスクロールすることを中止することと、
をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1の選択可能領域の前記第2の端付近に前記トリガラインを確立することは、前記トリガラインが、前記第1の選択可能領域の前記第2の端と一致するように、前記トリガラインを確立することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記第1の選択可能領域の前記第2の端付近に前記トリガラインを確立することは、前記トリガラインが、前記第1の選択可能領域の前記第2の端に最も近い前記第1の選択可能領域の一部分の範囲内にあるように、前記トリガラインを確立することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記第1の選択可能領域の前記第2の端付近に前記トリガラインを確立することは、前記トリガラインが、前記第1の選択可能領域の前記第2の端に最も近い前記選択不可能領域の一部分の範囲内にあるように、前記トリガラインを確立することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記スクロール可能領域をスクロールすることは、前記ユーザ入力の前記スクロール可能領域の外側にある第2の時点よりも、前記ユーザ入力の前記スクロール可能領域内にある第1の時点の方がゆっくりである可変速度で、前記スクロール可能領域をスクロールすることを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

第1の選択可能領域内で前記ユーザ入力を検出することは、前記ユーザ入力を前記第1の選択可能領域内の最初の選択点で検出することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記ユーザ入力の最後の選択点を決定することをさらに含む、請求項7に記載の方法。

【請求項9】

前記最初の選択点と前記最後の選択点との間で、かつ前記最初の選択点および前記最後の選択点を含んだコンテンツを選択することをさらに含む、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

コンピュータ実行可能命令を記憶したコンピュータ可読記憶媒体であって、

前記コンピュータ実行可能命令は、コンピュータによって実行されると、前記コンピュータに、

ユーザインターフェースをディスプレイ上に提示することであって、前記ユーザインターフェースが、1つまたは複数の選択可能領域および1つまたは複数の選択不可能領域を有するスクロール可能領域を備え、前記1つまたは複数の選択可能領域のうち第1の選択可能領域が、前記1つまたは複数の選択不可能領域のうちの第1の選択不可能領域に隣接して位置することと、

前記第1の選択可能領域内でユーザ入力を検出することと、

前記スクロール可能領域の第1の端が、前記第1の選択可能領域の可視部分と相互に面しているかどうかを決定することと、

前記スクロール可能領域の前記第1の端が、前記第1の選択可能領域の前記可視部分と相互に面しているという第1の決定に少なくとも部分的に基づいて、前記スクロール可能領域の前記第1の端にトリガラインを確立することと、

前記スクロール可能領域の前記第1の端が、前記第1の選択可能領域の前記可視部分と相互に面していないという第2の決定に少なくとも部分的に基づいて、前記第1の選択可能領域の第2の端付近にトリガラインを確立することであって、前記第2の端が、前記1つまたは複数の選択不可能領域のうちの1つの選択不可能領域に直接、隣接していること

と、

前記第 1 の選択可能領域内の最初の選択点から前記トリガラインまでの前記ユーザ入力の移動を検出することと、

前記トリガラインまでの前記ユーザ入力の移動に少なくとも部分的に基づいて、前記スクロール可能領域内に提示されるコンテンツをスクロールすることと、
を行わせる、コンピュータ記憶媒体。

【請求項 1 1】

前記コンピュータによって実行されると、前記コンピュータに、

前記 1 つまたは複数の選択可能領域のうちの第 2 の選択可能領域の閾値量が、前記スクロール可能領域内にスクロールしたとき、前記コンテンツをスクロールすることを中止させる、コンピュータ実行可能命令をさらに記憶した、請求項 1 0 に記載のコンピュータ記憶媒体。

【請求項 1 2】

前記コンピュータによって実行されると、前記コンピュータに、

前記第 2 の選択可能領域と相互に面している前記スクロール可能領域の第 3 の端に前記トリガラインを再確立させる、コンピュータ実行可能命令をさらに記憶した、請求項 1 1 に記載のコンピュータ記憶媒体。

【請求項 1 3】

前記第 1 の選択可能領域の前記第 2 の端付近に前記トリガラインを確立することは、前記トリガラインが、前記第 1 の選択可能領域の前記第 2 の端と一致するように、前記トリガラインを確立することをさらに含む、請求項 1 0 に記載のコンピュータ記憶媒体。

【請求項 1 4】

前記第 1 の選択可能領域の前記第 2 の端付近に前記トリガラインを確立することは、前記トリガラインが、前記第 1 の選択可能領域の前記第 2 の端に最も近い前記第 1 の選択可能領域の一部分の範囲内にあるように、前記トリガラインを確立することをさらに含む、請求項 1 0 に記載のコンピュータ記憶媒体。

【請求項 1 5】

前記第 1 の選択可能領域の前記第 2 の端付近に前記トリガラインを確立することは、前記トリガラインが、前記第 1 の選択可能領域の前記第 2 の端に最も近い前記 1 つまたは複数の選択不可能領域のうちの前記選択不可能領域の一部分の範囲内にあるように、前記トリガラインを確立することをさらに含む、請求項 1 0 に記載のコンピュータ記憶媒体。